

## 令和3年度第2四半期連結決算概要

令和3年10月27日  
東海旅客鉄道株式会社

- ・新型コロナウイルス感染症の発生を受けた外出及び移動の自粛等の影響により、当社・グループ会社ともに引き続き極めて厳しい経営環境が続く中、**連結営業収益は前年と比べ増加したものの、依然として低水準。**
- ・引き続きグループ会社も含め、費用削減を強力に推進したものの、**営業損失を計上。**
- ・通期の業績予想は、**上期の実績等を反映し、収益・利益を下方修正する。**引き続き感染拡大防止に取り組みながら、安全・安定輸送の確保を最優先に輸送機関としての使命を果たしていく。また、コロナ禍で受けた大きなダメージを挽回し、将来にわたって、当社グループが社会的使命を力強く果たしていくため、経営体力の再強化に挑戦する。そのために、「業務改革」により定常的なコストの削減を図るとともに、収益の拡大に向けて一層注力する。

## 1. 連結損益の概要（累計）

**(1) 営業収益 3,869億円（対前年同期+490億円、14.5%増）**

- ・当社の**運輸収入は、対前年同期707億円（37.4%）増の2,600億円。**
  - ・鉄道事業については、東海道新幹線・在来線ともに、お客様に安心してご利用頂けるよう感染拡大防止に取り組み、お客様のご利用状況を踏まえて十分な輸送力を提供した。また、「ずらし旅」の提案など魅力ある旅行商品を販売したほか、モバイル端末等を気兼ねなく使用して仕事を進めることができる「S W o r k車両」や駅待合室のビジネスコーナーなど、車内や駅のビジネス環境の整備に取り組んだ。
  - ・これらの結果、東海道新幹線の運輸収入は対前年同期658億円（40.5%）増の2,284億円、在来線の運輸収入は対前年同期48億円（18.1%）増の315億円となった。
- ・鉄道以外の事業においては、感染拡大防止に取り組みながらJRセントラルタワーズとJRゲートタワーの営業を行うなど、収益の確保に努めた。

**(2) 営業費 4,210億円（対前年同期△304億円、6.7%減）****(3) 営業損益 △341億円（対前年同期+794億円）****(4) 営業外損益 △329億円（対前年同期+41億円）****(5) 経常損益 △670億円（対前年同期+836億円）****(6) 親会社株主に帰属する四半期純損益 △444億円（対前年同期+691億円）**

## 2. 令和3年度の業績予想

- ・通期の業績予想は、上期の実績等を反映し、**営業収益1兆80億円(対前期22.4%増)、営業損益370億円、経常損益△330億円、親会社株主に帰属する当期純損益△300億円に修正する。**
- ・当業績予想は、今後の新型コロナウイルス感染症の収束状況や経済動向等により、大きく変動する可能性がある。

## 3. 令和3年度の間配当金及び期末配当予想(当社)

- ・中間配当金 1株当たり65円(年初予想通り、前中間期と同額)
- ・期末配当予想 1株当たり65円

※ 金額は単位未満端数切捨(補足説明資料2以降についても同じ)

※ 特に記載がない場合、令和2年度の数値は収益認識会計基準適用前、令和3年度の数値は収益認識会計基準適用後の数値で表示(補足説明資料2以降についても同じ)

※ 収益認識会計基準適用後の比較は、補足説明資料9・10を参照

## 比較第2四半期損益計算書【連結】

(単位 億円、%)

科 目	令和2年度 累 計	令和3年度 累 計	増 減	前期比
営 業 収 益	3,378	3,869	490	114.5
運 輸 業	2,125	2,853	727	134.2
流 通 業	643	410	△ 233	63.8
不 動 産 業	188	203	14	107.7
そ の 他	420	402	△ 18	95.7
営 業 費	4,514	4,210	△ 304	93.3
営 業 損 益	△ 1,135	△ 341	794	30.0
営 業 外 損 益	△ 371	△ 329	41	88.8
営 業 外 収 益	67	87	20	130.8
営 業 外 費 用	438	417	△ 20	95.3
経 常 損 益	△ 1,507	△ 670	836	44.5
特 別 損 益	△ 48	19	68	-
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 損 益	△ 1,556	△ 651	904	41.9
法 人 税 等	△ 419	△ 212	206	50.7
四 半 期 純 損 益	△ 1,137	△ 439	697	38.7
非 支 配 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 損 益	△ 1	4	6	-
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 純 損 益	△ 1,135	△ 444	691	39.1
四 半 期 包 括 利 益	△ 1,099	△ 455	644	41.4

(注) 1. 営業収益の内訳は、セグメント別の外部顧客への売上高

2. 収益認識会計基準適用後の比較は、補足説明資料9を参照

3. 決算短信において「ホテル・サービス業」に含まれる会社について、当資料では「その他」に含む

## 比較第2四半期損益計算書【単体】

(単位 億円、%)

科 目	令和2年度 累 計	令和3年度 累 計	増 減	前期比
営 業 収 益	2,217	2,946	729	132.9
運 輸 収 入	1,893	2,600	707	137.4
そ の 他 の 収 入	324	345	21	106.7
営 業 費	3,218	3,231	13	100.4
人 件 費	871	799	△ 72	91.7
物 件 費	1,336	1,349	12	100.9
租 税 公 課	162	175	12	107.6
減 価 償 却 費	846	908	61	107.3
営 業 損 益	△ 1,000	△ 285	715	28.5
営 業 外 損 益	△ 396	△ 351	44	88.7
営 業 外 収 益	42	68	26	161.2
営 業 外 費 用	438	420	△ 18	95.7
経 常 損 益	△ 1,396	△ 636	760	45.6
特 別 損 益	△ 9	△ 98	△ 89	-
税 引 前 四 半 期 純 損 益	△ 1,405	△ 735	670	52.3
法 人 税 等	△ 423	△ 222	200	52.7
四 半 期 純 損 益	△ 982	△ 512	470	52.1

(注) 単体財務諸表は、収益認識会計基準の影響は軽微

輸送人キロおよび運輸収入の比較（第2四半期）

(単位 百万人キロ、億円、%)

			令和2年度 累 計	令和3年度 累 計	増 減	前期比	(参考) 令和3年度 7～9月	
							前期比	
輸 送 人 キ ロ	新 幹 線	定 期	531	495	△37	93.1	239	91.3
		定期外	6,504	9,192	2,688	141.3	4,970	113.7
		合 計	7,035	9,686	2,651	137.7	5,210	112.4
	在 来 線	定 期	2,431	2,459	28	101.2	1,213	94.7
		定期外	678	885	207	130.6	451	107.3
		合 計	3,109	3,344	235	107.6	1,664	97.8
	合 計	定 期	2,963	2,954	△8	99.7	1,452	94.2
		定期外	7,182	10,077	2,895	140.3	5,422	113.1
		合 計	10,144	13,031	2,887	128.5	6,874	108.5
	運 輸 収 入	新 幹 線	定 期	63	59	△3	(64.5) 93.9	28
定期外			1,562	2,225	662	(35.2) 142.4	1,188	(36.7) 113.5
合 計			1,625	2,284	658	(35.7) 140.5	1,217	(37.1) 113.0
在 来 線		定 期	144	151	6	(84.1) 104.8	74	(83.2) 100.2
		定期外	123	164	41	(47.6) 133.8	83	(48.0) 107.4
		合 計	267	315	48	(60.1) 118.1	157	(60.0) 103.9
合 計		定 期	207	210	3	(77.5) 101.4	102	(76.2) 98.1
		定期外	1,685	2,390	704	(35.9) 141.8	1,271	(37.3) 113.1
		合 計	1,893	2,600	707	(37.5) 137.4	1,374	(38.8) 111.8
合 計 (小荷物含む)		1,893	2,600	707	(37.5) 137.4	1,374	(38.8) 111.8	

- (注)1. 当社単体に係る輸送人キロおよび運輸収入を記載  
 2. 輸送人キロは単位未満端数四捨五入  
 3. 前期比欄の( )内は、平成30年度との比較を記載

## 比較第2四半期貸借対照表【連結】

(単位 億円)

科 目	令和2年度 期 末	令和3年度 第2四半期末	増 減
流 動 資 産	30,238	28,684	△ 1,554
うち 中央新幹線建設資金管理信託	20,761	19,481	△ 1,280
固 定 資 産	65,765	66,604	839
有 形 ・ 無 形 固 定 資 産	52,872	53,768	896
投 資 そ の 他 の 資 産	12,893	12,836	△ 56
資 産 合 計	96,003	95,288	△ 714
流 動 負 債	8,240	8,352	111
固 定 負 債	50,896	50,649	△ 247
負 債 合 計	59,137	59,001	△ 136
純 資 産 合 計	36,866	36,287	△ 578
負 債 純 資 産 合 計	96,003	95,288	△ 714
(再掲) 長期債務	49,326	49,187	△ 138
中央新幹線建設長期借入金	30,000	30,000	-
社 債	9,188	9,388	200
長 期 借 入 金	4,811	4,502	△ 308
鉄道施設購入長期未払金	5,326	5,296	△ 30

## 比較第2四半期キャッシュ・フロー計算書【連結】

(単位 億円)

科 目	令和2年度 累 計	令和3年度 累 計	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,842	△ 846	995
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 745	△ 962	△ 216
有形・無形固定資産の取得等による支出	△ 2,553	△ 2,243	310
中央新幹線建設資金管理信託による収入	1,807	1,280	△ 527
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,725	1,714	△ 11
現金及び現金同等物の増減額	△ 862	△ 95	767
現金及び現金同等物の期首残高	7,613	7,199	△ 414
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,750	7,103	352

## 通期の業績予想【連結】

(単位 億円、%)

科 目	令和2年度 (実績) A	令和3年度 (前回予想) B	令和3年度 (今回予想) C	対前回予想		対前年実績	
				増 減 C-B	比 率 C/B	増 減 C-A	比 率 C/A
営 業 収 益	8,235	11,150	10,080	△ 1,070	90.4	1,844	122.4
営 業 費	10,082	10,090	9,710	△ 380	96.2	△ 372	96.3
営 業 損 益	△ 1,847	1,060	370	△ 690	34.9	2,217	-
経 常 損 益	△ 2,620	330	△ 330	△ 660	-	2,290	12.6
親会社株主に帰属する 当期純損益	△ 2,015	150	△ 300	△ 450	-	1,715	14.9

(注) 収益認識会計基準適用後の比較は、補足説明資料10を参照

## 通期の業績予想【単体】

(単位 億円、%)

科 目	令和2年度 (実績) A	令和3年度 (前回予想) B	令和3年度 (今回予想) C	対前回予想		対前年実績	
				増 減 C-B	比 率 C/B	増 減 C-A	比 率 C/A
営 業 収 益	5,417	8,900	7,950	△ 950	89.3	2,532	146.7
〔うち運輸収入〕	4,761	8,200	7,260	△ 940	88.5	2,498	152.5
営 業 費	7,177	7,830	7,570	△ 260	96.7	392	105.5
営 業 損 益	△ 1,759	1,070	380	△ 690	35.5	2,139	-
経 常 損 益	△ 2,566	340	△ 350	△ 690	-	2,216	13.6
当 期 純 損 益	△ 2,023	120	△ 420	△ 540	-	1,603	20.8

(注) 単体財務諸表は、収益認識会計基準の影響は軽微

参考:セグメント情報(実績)

(単位 億円、%)

科 目		令和2年度 累 計	令和3年度 累 計	増 減	前期比
営業収益	運 輸 業	2,172	2,900	727	133.5
	流 通 業	702	449	△ 252	64.1
	不 動 産 業	334	356	21	106.5
	そ の 他	971	943	△ 28	97.1
	調 整 額	△ 802	△ 780	21	97.3
	計	3,378	3,869	490	114.5
セグメント損益 (営業損益)	運 輸 業	△ 1,040	△ 325	714	31.3
	流 通 業	△ 97	△ 49	48	50.6
	不 動 産 業	67	83	16	124.2
	そ の 他	△ 50	△ 41	8	83.0
	調 整 額	△ 14	△ 8	6	54.3
	計	△ 1,135	△ 341	794	30.0

- (注)1. セグメント別の営業収益は、外部顧客への売上高のほか、他セグメントへの売上高を含む  
 2. 「調整額」欄は、セグメント間取引の相殺消去  
 3. 収益認識会計基準適用後の比較は、補足説明資料9を参照  
 4. 決算短信において「ホテル・サービス業」に含まれる会社について、当資料では「その他」を含む

参考:セグメント情報(業績予想)

(単位 億円、%)

科 目		令和2年度 (実績) A	令和3年度 (前回予想) B	令和3年度 (今回予想) C	対前回予想		対前年実績	
					増 減 C-B	比 率 C/B	増 減 C-A	比 率 C/A
営業収益	運 輸 業	5,330	8,820	7,860	△ 960	89.1	2,529	147.5
	流 通 業	1,747	1,190	1,110	△ 80	93.3	△ 637	63.5
	不 動 産 業	691	750	730	△ 20	97.3	38	105.6
	そ の 他	2,516	2,410	2,370	△ 40	98.3	△ 146	94.2
	調 整 額	△ 2,050	△ 2,020	△ 1,990	30	98.5	60	97.1
	計	8,235	11,150	10,080	△ 1,070	90.4	1,844	122.4
セグメント損益 (営業損益)	運 輸 業	△ 1,833	1,000	310	△ 690	31.0	2,143	-
	流 通 業	△ 122	△ 50	△ 50	-	100.0	72	40.9
	不 動 産 業	130	150	140	△ 10	93.3	9	107.4
	そ の 他	13	△ 10	△ 10	-	100.0	△ 23	-
	調 整 額	△ 35	△ 30	△ 20	10	66.7	15	56.4
	計	△ 1,847	1,060	370	△ 690	34.9	2,217	-

- (注)1. セグメント別の営業収益は、外部顧客への売上高のほか、他セグメントへの売上高を含む  
 2. 「調整額」欄は、セグメント間取引の相殺消去  
 3. 収益認識会計基準適用後の比較は、補足説明資料10を参照  
 4. 決算短信において「ホテル・サービス業」に含まれる会社について、当資料では「その他」を含む

参考:連結損益計算書(第2四半期)  
(収益認識会計基準適用後比較)

(単位 億円、%)

科 目	令和2年度 累 計 (基準適用後参考値)	令和3年度 累 計	増 減	前期比
営 業 収 益	3,036	3,869	833	127.4
営 業 費	4,174	4,210	35	100.9
営 業 損 益	△ 1,138	△ 341	797	30.0
経 常 損 益	△ 1,505	△ 670	834	44.6
親会社株主に帰属する 四半期純損益	△ 1,132	△ 444	688	39.2

(注) 令和2年度の数値は、令和2年度の決算数値に、収益認識会計基準の適用に伴い会計処理が変動する  
主な取引の影響を反映させた参考値を記載

参考:セグメント情報(第2四半期)  
(収益認識会計基準適用後比較)

(単位 億円、%)

科 目	令和2年度 累 計 (基準適用後参考値)	令和3年度 累 計	増 減	前期比	
営 業 収 益	運 輸 業	2,171	2,900	729	133.6
	流 通 業	334	449	115	134.7
	不 動 産 業	333	356	22	106.9
	そ の 他	1,003	943	△ 59	94.1
	調 整 額	△ 805	△ 780	24	96.9
	計	3,036	3,869	833	127.4
セグメント損益 (営業損益)	運 輸 業	△ 1,040	△ 325	714	31.3
	流 通 業	△ 99	△ 49	50	49.4
	不 動 産 業	67	83	16	124.3
	そ の 他	△ 48	△ 41	6	85.7
	調 整 額	△ 16	△ 8	8	48.1
	計	△ 1,138	△ 341	797	30.0

- (注) 1. セグメント別の営業収益は、外部顧客への売上高のほか、他セグメントへの売上高を含む  
2. 「調整額」欄は、セグメント間取引の相殺消去  
3. 令和2年度の数値は、令和2年度の決算数値に、収益認識会計基準の適用に伴い会計処理が変動する  
主な取引の影響を反映させた参考値を記載  
4. 決算短信において「ホテル・サービス業」に含まれる会社について、当資料では「その他」を含む

参考:通期の業績予想【連結】  
(収益認識会計基準適用後比較)

(単位 億円、%)

科 目	令和2年度 (基準適用後参考値) A	令和3年度 (前回予想) B	令和3年度 (今回予想) C	対前回予想		対前年実績	
				増 減 C-B	比 率 C/B	増 減 C-A	比 率 C/A
営 業 収 益	7,400	11,150	10,080	△ 1,070	90.4	2,679	136.2
営 業 費	9,247	10,090	9,710	△ 380	96.2	462	105.0
営 業 損 益	△ 1,847	1,060	370	△ 690	34.9	2,217	-
経 常 損 益	△ 2,619	330	△ 330	△ 660	-	2,289	12.6
親会社株主に帰属する 当 期 純 損 益	△ 2,014	150	△ 300	△ 450	-	1,714	14.9

(注) 令和2年度の数値は、令和2年度の決算数値に、収益認識会計基準の適用に伴い会計処理が変動する  
主な取引の影響を反映させた参考値を記載

参考:セグメント情報(業績予想)  
(収益認識会計基準適用後比較)

(単位 億円、%)

科 目	令和2年度 (基準適用後参考値) A	令和3年度 (前回予想) B	令和3年度 (今回予想) C	対前回予想		対前年実績		
				増 減 C-B	比 率 C/B	増 減 C-A	比 率 C/A	
営 業 収 益	運 輸 業	5,332	8,820	7,860	△ 960	89.1	2,527	147.4
	流 通 業	829	1,190	1,110	△ 80	93.3	280	133.8
	不 動 産 業	691	750	730	△ 20	97.3	38	105.5
	そ の 他	2,517	2,410	2,370	△ 40	98.3	△ 147	94.1
	調 整 額	△ 1,971	△ 2,020	△ 1,990	30	98.5	△ 18	100.9
	計	7,400	11,150	10,080	△ 1,070	90.4	2,679	136.2
セグメント損益 (営業損益)	運 輸 業	△ 1,833	1,000	310	△ 690	31.0	2,143	-
	流 通 業	△ 122	△ 50	△ 50	-	100.0	72	40.8
	不 動 産 業	130	150	140	△ 10	93.3	9	107.4
	そ の 他	17	△ 10	△ 10	-	100.0	△ 27	-
	調 整 額	△ 39	△ 30	△ 20	10	66.7	19	50.8
	計	△ 1,847	1,060	370	△ 690	34.9	2,217	-

- (注) 1. セグメント別の営業収益は、外部顧客への売上高のほか、他セグメントへの売上高を含む  
 2. 「調整額」欄は、セグメント間取引の相殺消去  
 3. 令和2年度の数値は、令和2年度の決算数値に、収益認識会計基準の適用に伴い会計処理が変動する  
 主な取引の影響を反映させた参考値を記載  
 4. 決算短信において「ホテル・サービス業」に含まれる会社について、当資料では「その他」を含む

## 参考:コスト削減実績・計画

(単位:億円)

		令和2年度 実績	令和3年度 年初計画	令和3年度 今回計画
当社	損益	630	300	500
	設備投資	200 付帯損益80含む	400 付帯損益70含む	430 付帯損益80含む
グループ	損益	150	60	90
	設備投資	100	40	60
合計		1,000 付帯損益80を除外	730 付帯損益70を除外	1,000 付帯損益80を除外

(注)付帯損益は、設備投資に付帯して発生する費用(撤去費等)で、損益と設備投資に重複して計上されるため、合計からは除外